

SAGA 2024 国スポ 全障スポ

嬉野市開催競技7競技



10月頃を中心に競技が開催されますが、全国から参加する選手・関係者に気持ちよく参加してもらい、佐賀のすばらしさをわかってもらえるように地域でもちよつとお手伝いをしてみませんか。たとえば、会場周辺を飾るための花苗をプランターでお世話するボランティアもあります。プランターは大会後自宅で利用できます。のぼり旗にいろんなメッセージを書いて完成させたり、佐賀のチームをまとまって応援に行く企画もあります。参加したい方はコミュニティへ申し出てくださると嬉しいので、積極的に楽しみ、盛り上げましょう！



「国スポ・全障スポ」に参加しよう！！



今年はいよいよ佐賀で国民スポーツ大会（国スポ）・全国障害者スポーツ大会（全障スポ）が開催されます。「国体」から「国スポ」へ変わる最初の開催県です。嬉野市でも軟式野球・なぎなたを始め7つの種目が開催されます。佐賀県代表選手として参加できるアスリートは今から目指すのは無理ですが、48年ぶりに開催されるこの大会に参加する方法はいろいろあります。デモンストラクション競技に参加する、高度な国スポ等の競技を応援して見る、全国の大会参加者に喜んでもらえる大会となるよう支えることです。嬉野市も市民全体で取り組んでもらいたいとのことでコミュニティとのいろいろな連携事業を提案されています。

青少年育成部会

木工教室サポート



専門家の指導を受けてから



利用する材料を見つけて



作業の手伝いもありました

1月24日（水）は久間小4年生28名の木工教室がありました。今年は眞嶋さん、光武さん、小林さんと3名の大工さんも含めて9名がサポーターで参加。専門家に道具の扱い方を実演してもらってからはみんなの想像力を生かしての作品作りです。サポーターはちよつとしたお手伝いや困っているときのアドバイスくらいですが、3時間があつたという間に過ぎました。いろんな木工材料も提供していただきました。ありがとうございました。

市内弁論大会



川原花さん（久間小）



倉掛光輝士さん（塩田中）

地区に感謝するって素晴らしい言葉もいただきました。

2月3日（土）リバティにて嬉野市青少年育成弁論大会が開催されました。市内各小中学校で最優秀賞を受賞した児童・生徒が自分の考えを述べます。多くの観客を前に、堂々と大きな声で、しっかりと考えた考えを皆さん発表してくれました。こんな子供たちがいるから嬉野市はきつとよくなる。そんな気持ちにさせてくれる大会でしたが、久間小の川原花さん、塩田中の倉掛光輝士さんも素晴らしい考え、それと実践を発表しました。川原さんは自分を変えていくために日頃登校の安全を守ってくれる地区の人たちへの挨拶を自分から大きい声でしようと決めて実践しています。他地区の方から子供たちがこんな



市内各学校の最優秀賞の皆さん方

地域づくり部会

地域の心を届けてきました

1月12月(金)昨年末の野菜直売と同時に開催したバザーの益金23,280円を志田会長、森田地域づくり部会長とともに嬉野市社会福祉協議会(坂口典子事務局長)へ寄付してきました。バザー抛出品と一緒に現金の寄付3,725円もいただきましたのでそれも一緒に届けました。バザー商品の提供や購入をいただいた地域の皆さん、ありがとうございます。コミュニケーションではペットボトルのキャップの持ち込みも受け付けています。これも社会福祉協議会へ定期的に届けています。2kgで1人分のポリオワクチンが買えるようです。環境にいいことで子供の命も救えますよ。

た



久間小にも大谷グローブ届く!

あの「大谷翔平選手寄贈グローブ」が久間小にも届いたと会議の折見せてもらい、実際に使用していると場所を取材しました。全校朝会で紹介してから、各学年で順次運動場で交代しながら使っているそうです。2年生が使用しているところを見ましたが意外とみんな上手で



全国約60,000個のうちの3個



2年生が楽しんでました

上手でした。私も役得ようと触りました(笑)

ポイ捨て防止看板設置しました

久間小6年生に描いてもらった「ポイ捨て防止ポスター」25枚を環境整備部会員・区長さんのご協力で見守る看板です。子供たちの力をぜひ、ご覧ください

環境整備部会



新しい看板に白ペンキを塗る作業



光武地区の看板

健康福祉部会

みんなの音楽会へのお誘い

2月27日(火) 9:30~11:30 【申込不要】

会場：久間コミュニティセンター
手作りの素晴らしい音響機器で懐かしい曲、名曲、クラシックなどに触れてみませんか。
チラシ後日配布 お誘い合わせ上

健康講座のご案内

講座内容：骨粗しょう症について

2月19日(月) 14:00~15:00 【申込不要】

会場：久間コミュニティセンター
講師：志田病院 坂本浩嗣先生(久間光武出身)
演題：「50代以上の女性は3人に1人が罹患!？」

事務局長雑感

今回は自分自身で国スポを体験してみよう。アスリートたちの輝かしい自己表現の場の国スポ。それを支える大会の舞台裏を手伝うことで、若楠国体を成功させた先人の思いを少しは感じられるかもしれない。

国スポ・全障スポが48年ぶりに佐賀で開催される。オリンピックの夏季大会も2度、冬季オリンピックも2度国内であったし、国スポも佐賀で2度目。いい時期に人生過ぎたなと思う。最初の佐賀国体は高校3年生だった。高校の運動場が女子ソフトボールの練習会場だったので授業そつちのけで窓から沖繩チームの練習とかを見ていた。鹿島の浜の国道を炬火リレーで走ったりもした。高校の体育の先生はレスリングの国体選手だった。でも大会を支える人たちのことは全然考えもしなかった。考えてみれば、大会は多くの人の下支え、協力と参加で成り立つものだ。

青色防犯パトロール活動担当地区のお知らせ

午後3時15分~4時15分まで

2月 南下久間
3月 冬野

よろしく
お願いします



※PTAも月2回パトロールしています